株式会社西軽精機

平成26年度

■事業計画名

医療機器部品高度精密洗浄体制確立

■概要

医療機器部品への異物の付着やキズ等を取り除くことは、医療機器における重要な要求品質である。コンタミネーションや菌類発生等の悪影響を防ぐ、高洗浄能力かつ高効率の洗浄装置を設置し、医療機器高度化に資する。

■分類

＜対象類型＞　ものづくり技術
　　精密加工
＜事業類型＞　設備投資のみ

■成果

医療機器部品の高度精密洗浄体制を整えるためにNCC株式会社製炭化水素真空超音波洗浄装置を導入した。その結果、手作業で追加洗浄する部分が減り、品質を損なうことなく部品の精浄度を高くすることができた。

平成27年度

■事業計画名

難削材での医療用複合超精密部品の一体加工体制の確立

■概要

強みである難削材加工技術、多品種小ロット、短納期、高品質をベースに、最新設備導入で医療機器等の基幹部品ニーズである複雑形状超精密化と部品複合化への高度化要求対応体制を確立する。

■分類

＜対象類型＞　ものづくり技術
　　精密加工
＜事業類型＞　高度生産性向上型
　　最新モデル

■成果

医療機器等の基幹部品である複雑形状精密部品を加工するために、新型NC旋盤を導入した。

その結果、複雑形状超精密化と部品複合化への高度化要求対応体制を確立することができた。

今後は拡販活動に注力する。

好機逃すべからず

株式会社西軽精機（佐久市）

難削材加工にシフトし、医療分野が約６割。加工品質向上のための設備投資を進める。

B軸付最新鋭NC加工機

難削材加工にシフト

難削材を加工した精密機器部品

「その時、チタンの加工は初めて。どこもやったことがないことをやれ、が口癖の会長はチャンスだと思ったのでしょう。すぐに仕上げて納めました。当社がチタンをはじめとする難削材加工にシフトしたのは、これがきっかけでした」

そう話すのは、西軽精機の上原大輔社長。同社は上原和友会長が1979年、時計部品などの精密機器部品を手がける金属加工メーカーとして創業しました。当時から多品種少量生産を志向し、外径0.3ミリから35ミリまでの製品の精密加工を得意としています。

現在、約６割が医療分野。そのきっかけとなったのが冒頭の15年ほど前のエピソードです。同社の評判を聞きつけた、人工透析機を手がける大手メーカーから突然舞い込んだチタンの部品加工が高く評価され、以来医療分野からの引き合いが増加。同社ではさらに難削材加工のノウハウを深め、付加価値の高いこの分野にシフトしてきました。

「当社では難しいもの、納期がないものは断りません。困った時の西軽頼み、というありがたい評判もあるようです（笑）。重要部品なのにどうしてもうまくいかない、と持ち込んでこられるものも多く、感謝されています」。

最新鋭NC加工機で複雑形状部品加工

同社では加工品質向上のため補助金を積極的に活用しています。

従来、複雑な形状の製品では手作業で追加洗浄するケースが多く、ダコンやキズがついたり、3ミリ径の細長い穴の精密洗浄にはかなりの手間がかかっていました。そこで医療機器部品の高度精密洗浄体制を整えるため、平成26年度ものづくり補助金を活用し、炭化水素真空超音波洗浄装置を導入しました。

炭化水素真空超音波洗浄装置

平成27年度補助金では、B軸付の最新鋭NC加工機を導入。顧客医療機器メーカーからのニーズが高い部品点数削減のための複雑形状部品加工と、さらなる精度向上、納期短縮、コストダウンに対応できる体制を確立しました。「今後この機械を必要とする加工図面が出てくるだろうと先行投資的発想もありました」。

人の心を大切にし、社員の豊かな人間性を重視する同社。それが端的に表れているのが工場です。「創業以来、工場は木の床にしています。柔らかく疲れないから。エアコンも完備しています」

上原社長は経営の根幹を「社員の幸せ」に置き、すべての判断基準にしています。「おかげさまで経営はとても良い状況にあります」と言うように、業績にも表れています。

「今後の課題は働き方改革」と上原社長。「長時間労働の是正など、本腰を入れてやっていこうと考えていますが、まだまだこれから。近い将来『日本で一番大切にしたい会社大賞』が受賞できる会社づくりを目標にしています」。

工場内は木の床

株式会社西軽精機

代　　表	代表取締役社長　上原大輔
創　　業	1979（昭和54）年9月
資 本 金	3,000万円　従業員数　32名
本　　社	佐久市小田井1077-18 TEL.0267-68-7104　FAX.0267-68-7124
事業内容	NC複合自動旋盤による医療機器、産業用機器部品の製造